

平成23年度 事務事業評価シート（平成22年度実績分）

事務事業名		旭浄水場更新事業		部課コード	2406	予算事業科目		事単	区分	継続	
所管部署	担当部局	水道局		部長名(2次評価者)	橋詰 辰男		個別事務	全部	0	-	
	担当部署	浄水課		所属長名(1次評価者)	山本 三四年			-			
	電話番号	843-8630		E-mail	kc-240603@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成23年度)		高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	水道事業会計	大綱	05	まちの環								政策基本方針
款	01 資本的支出	政策	04	安全安心の都市空間整備								
項	02 増補改良事業費	施策	06	水道ライフラインの強化								
目	02 施設増補改良費	区分		旭浄水場更新工事								

本市は、地理的な要因や急速な都市化の進展により、しばしば浸水や山・崖崩れなどの災害を経験してきました。また、次の南海地震は、海溝型地震の長期評価(2010(平成22)年1月1日算定基準)において、今後10年間に10%から20%の確率で、また、今後30年間に60%程度の確率で発生すると予測されています。安全は都市の基礎的な条件であり、次の南海地震への備えをはじめ、合併により広がった市域の防災対策や消防・救急体制の強化を進めます。また、市営住宅の整備や交通安全対策、水道水の安定供給を図るなど、市民が安心して暮らせる快適な都市の実現をめざします。

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)		高知市水道事業基本計画2007

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	給水区域内の市民	
意図	どのような状態にしていくのか	安全な水を安定して供給するとともに、災害に強い浄水場にする。	
手段	事業実施体制等	旭更新事務所を設置	事業開始年度 平成12年度
			事業終了年度 平成28年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●既設の施設を運転しながらの工事になるので、運転に支障がでないよう注意する。 ●周辺住民に騒音等の被害が出ないように留意する。 ●計画終了年までに完了するよう工程管理を行う。 ●最小の経費で最大の効果がでる施設づくりをめざす。 ●運転管理、維持管理の容易な施設を目指す。 	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	工事の進捗率	予定した工事の進捗率
	B		
	C		

4 事業の実績等

			20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	工事の進捗率	19%	30%	34%	41%		
		実績	19%	30%	34%			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	473,410	1,058,127	15,062	642,990	繰越額は、各々翌年度決算額に含まれています	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	473,410	1,058,127	15,062		642,990
	翌年度への繰越額 (千円)	17,297		330,540				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	31,714	31,314	30,514	30,514		
		正規職員 (千円)	30,000	29,600	28,800	28,800		
		その他 (千円)	1,714	1,714	1,714	1,714		
		人役数 (人)	5.00	5.00	5.00	5.00		
		正規職員 (人)	4.00	4.00	4.00	4.00		
		その他 (人)	1.00	1.00	1.00	1.00		
	総コスト= ① + ② (千円)		505,124	1,089,441	45,576	673,504		
	市民1人当たりコスト (円)		1,483	3,207	134		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)		340,695	339,714	339,130				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- 既設の施設を運転しながらの工事であり、運転に支障が出ないように細心の注意を払い必要がある。
- 既設の施設が古いため、図面等のデータが不足しており確認に不足の時間を要する。
- 導水管の工事においては、周辺の井戸に影響が出ないように配慮しなければならない。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 1 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は、施策「安全でおいしい水の安定供給」に資するものであり、本市の総合計画に掲げる政策「快適で安全な生活環境づくり」の趣旨に合致している。 また、水道水を安定供給するためには、基幹施設の整備が必要とされ、市民ニーズも高くなっている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 概ね多いである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	平成19年度～平成28年度の事業の内、すでに浄水施設は完成しており、成果指標の目的は十分に達成している。 関係官庁等の協議や地元説明会を実施するなど、事業の手法・活動内容は概ね妥当である。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	アウトソーシングの可能性は、現段階では無理である。 コストの削減は追及していくが、統合・連携は無理である。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	安全な水を安定して供給するとともに、災害に強い浄水場にすることができ、受益者には極めて公平性が高い。 計画段階で工法等の検討を行い、最小の経費で最大の効果が得られる施設作りを目指しており、適正な負担割合である。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合 点	19.0	総合 評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 16 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項